

倉掛新聞

〈発行所〉
倉掛自治連合会
井原市井原町倉掛
会長／佐能敏政

〈編集〉
倉掛自治連合会
倉掛少年団育成会
消防井原分団第3部

大橋北で放水訓練



1月試運転

倉掛と夏目を管轄する井原分団第3部(16人)が井上浩伸部長の指揮で1月7日、井原大橋北側の小田川土手で定例試運転を実施した。

井上浩伸部長が陣頭指揮

1月7日午前9時に第3部機庫から井原大橋北側の土手へ消防車で移動し、導流堤へ降ろした可搬式小型動力ポンプのエンジンを始動。小田川を水源にホース4本を接続し、土手から放水して機械器具の状態等を二班に分かれて点検(写真右下2枚)。正常に作動していることを確認した。

撤収後は機庫前で集合写真を撮り、年初の試運転を終えた。井原市消防出初式は井原市民会館で1月21日午前10時から挙行され、市

第3部団員名簿

[階級]	[氏名]	[地区]
部長	井上 浩伸	(夏目)
副部長	立石 浩四郎	(夏目)
会計	吉川 直輝	(倉掛)
会計	佃 信一郎	(夏目)
消防班長	鈴木 紘平	(倉掛)
組長	中西 諒佑	(夏目)
団員	西山 喬士	(夏目)
団員	笠原 慶一	(倉掛)
団員	松井 淳	(夏目)
団員	丸山 裕二	(倉掛)
団員	瀬藤 慎二	(倉掛)
団員	片山 敬悟	(夏目)
団員	塚原 一徳	(夏目)
団員	増成 智也	(夏目)
団員	田中 達也	(倉掛)
団員	片岡 憲一	(倉掛)

文化祭会場はつどえ〜る



準備に大わらわ

倉掛自治連合会

倉掛文化祭

第7回倉掛文化祭を2月24日〜25日、つどえ〜るで



内の消防団員らが出席して新年の門出を祝った。かつては実施されていた井原分



団出初式は今年も行われず、向町川原での一斉放水も中止された。

平穏な一年祈る

郷社新年祈願祭

自治連役員深夜に参詣

郷社足次山神社で令和6年元旦、新年祈願祭が執り



山室宮司からお祓いを受ける倉掛自治連合会役員ら

行われた。新年を迎える斎灯(お焚

火)は大晦日午前より火が入り、伐採した神苑の枝木を燃やし、飛び火などに注意しながら深夜に備えた。午前零時近くになると竹灯籠が照らす参道を通じて、氏子らが次々と参詣に訪れた。

今年も一番に参詣した倉掛自治連合会関係者10人は、拝殿に上り午前零時より山室史宮司のお祓いを受け、地域の平穏と住民の無病息災を祈った。

星空を焦がす斎灯の周りには、地元氏子らが集まり、新年の挨拶を交わしていた。

開催するにあたり、主催者の倉掛自治連合会役員をはじめ出品者は最終準備に追われている。

新型コロナウイルスの出現以来、諸行事中止が「常識化」するなど社会は大きく変化した。

こうした動きは隔年開催の倉掛文化祭にも影響。通常ならば一昨年度開催されるはずだったが、やむなく中止に。本年度も状況を見守っていたが12月に開催を決定し、急ぎ展示パネル等の借用を願いだした。

回覧やはがきで住民へ出品を呼び掛けたものの反応はいま一つ。受付窓口のつどえ〜る関係者も表情を曇らせていたが、直前になって申込が相次ぎ、開催の目途が立った。

昭和52〜53年運動会ビデオ

文化祭で上映

昭和52年と同53年に郷社の境内で開催された懐かしい倉掛運動会のビデオ。2月24〜25日開催の倉掛文化祭で久しぶりに上映される。井原放送(株)が開局後に収録したビデオを管理している関係者は「子どもが多さや当時の住民パワーにビックリされるでしょう」と話している。

倉掛

文化祭へ出品

サロンあすは

吊るし雛づくり



サロンあすはがつどえ〜るで2月16日、ふれあい交流会を開き会員20人が吊るし雛づくりを楽しんだ。

このたびはサロン役員の藤原朱実会計が事前にフェルト生地を雛人形・桃の花・ウグイス・ひし餅などの形にカット。模様入りの吊るし棒も他の役員らが手作りで準備した。参加者は

説明を聞きながらペンで人形の目を書いたり、材料を



接着剤で紐に貼り付ける作業を進め、約90分でほぼ完成させた。サロンあすはのメンバーは「春らしい良い作品ができました。近々開かれる倉掛文化祭に出品します。皆さん見てくださーい」と笑顔で話していた。

各組神社委員へ年2〜3回

清掃の協力要請

足次山神社

郷社足次山神社は、毎月第一日曜日(午前8時から約2時間)が定例清掃日。通常は総代会と敬神会、氏子数人が参加している。しかし、広い境内の落ち

葉は季節によって膨大な量となるのが悩みの種。そこで令和6年度より、倉掛夏目の神社委員(各組自治会長)にも協力を要請することになった。来る3

月の決算総会と4月の予算総会に大久保総代長と川相副総代長らが出席して、年に2〜3回程度は協力が必要な状況を説明する予定。

「3年間有り難う」

倉掛少年団入退団式

倉掛少年団入退団式がつどえ〜るで2月18日、3年生から6年生までの小学生とその保護者らが出席して開かれた。

皆勤者表彰に続いて花本啓史会長が「6年生の4名は本日も退団となりま

す。これからも仲間や多くの方々が温かく見守ってくださることを感じながら、新たな生活に励んでくださ

い。育成会をはじめ地域の皆さまには大変お世話になりました」などと挨拶。続いて6年生が思い出深い3年間の活動を振り返り



しみ、親子で成長していきたいと思えます」と抱負を述べ、新4年生2人に団帽を授与(写真右)した。記念撮影後、全員で赤磐市のドイツの森へ出かけ、楽しい1日を過ごした。

倉夏の氏子ら厄除け祈願



郷社足次山神社で1月27〜28日の午前9時〜午後3時まで厄除け祈願祭が執り行われた。参拝に訪れた人たちは、山室晶史宮司によってお祓いを受け、木札やお守りなどを授かった。

つどえ〜る cafe advertisement including menu (coffee 100 yen, tea 100 yen), location (Machinaka Kankou Chikan), and contact info (TEL 0866-62-9090).

SDGs promotion advertisement featuring the Sustainable Development Goals logo, a date stamp for 4/14 (日), and text about the initiative starting in April.

行事予定 (Event Schedule) listing various activities from February to April, such as the 7th Ibara Culture Festival and school graduations.

